



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 WDBホールディングス株式会社
 コード番号 2475 URL <http://www.wdbhd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野敏光
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 大塚美樹
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 079-287-0111

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	9,022	14.1	1,005	26.0	1,017	27.1	1,096	148.9
29年3月期第1四半期	7,906	9.4	798	20.1	800	19.8	440	22.6

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,092百万円 (157.0%) 29年3月期第1四半期 425百万円 (16.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	54.67	
29年3月期第1四半期	21.97	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	17,897	12,311	68.8
29年3月期	16,509	11,389	69.0

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 12,311百万円 29年3月期 11,389百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		2.50		8.50	11.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		7.00		10.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,942	12.9	1,740	6.7	1,740	6.6	1,611	93.9	80.33
通期	37,560	14.9	3,749	9.9	3,759	10.0	2,822	36.1	140.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	20,060,000 株	29年3月期	20,060,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	2,226 株	29年3月期	2,226 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	20,057,774 株	29年3月期1Q	20,057,774 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調にありますが、米国での新たな政策による影響をはじめ、欧州経済や新興国経済の動向など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内の雇用情勢におきましては、厚生労働省が発表した平成29年6月の有効求人倍率(季節調整値)が、1.51倍と、前月を0.02ポイント上回り、また、総務省が発表した平成29年6月の完全失業率(季節調整値)についても、2.8%と、前月を0.3%下回るなど、全体として改善を続けております。

当社グループの中核事業である「人材サービス事業」につきましては、WDB株式会社において、全国に展開しております研修所が順調に稼働しておりますとともに、平成29年4月には熊谷支店、高知オフィスを開設し、営業を開始いたしました。新卒者の常用雇用派遣を行っておりますWDB工学株式会社、WDBエウレカ株式会社につきましても、全国的にスタッフを派遣しており、それぞれの分野において順調に業容を拡大しております。雇用情勢の改善によるスタッフの確保は引き続き厳しい状況が予想されますが、当社グループ独自の研修制度や、地域に密着した営業活動の実施により、今後も様々な顧客ニーズにお応えしてまいります。

「CRO事業」につきましては、WDBアイシーオー株式会社の業績が堅調に推移しておりますほか、平成29年3月にはOy Medfiles Ltd. (メドファイルズ社)、同6月には株式会社コーブリッジの全株式を取得し、子会社化いたしました。Oy Medfiles Ltd. は、フィンランド及びバルト3国において、医薬品等の申請・承認関連の支援業務、医薬分野におけるラボラトリーサービス事業を行っており、欧州では約30年の実績と一定の知名度を有する企業グループであります。株式会社コーブリッジにつきましても、同様の業務のほかDMF (Drug Master File) の国内管理人 (ICC) 業務等を行っており、これらの子会社化により、当社グループの「CRO事業」の更なる拡大、発展が図れるものと考えております。

以上のような活動の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、9,022百万円(前年同期比14.1%増)となりました。

営業利益につきましては、1,005百万円と前年同期と比べ207百万円(前年同期比26.0%増)の増益となりました。また、経常利益につきましては、1,017百万円と前年同期と比べ217百万円(前年同期比27.1%増)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,096百万円と前年同期と比べ655百万円(前年同期比148.9%増)の増益となりました。

各セグメントの業績につきましては、下記のとおりとなっております。

① 人材サービス事業

理学系研究職派遣ならびに工学系技術職派遣が堅調に推移したため、当セグメントの売上高は、8,405百万円と前年同期と比べ1,014百万円(前年同期比13.7%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は、1,073百万円と前年同期と比べ234百万円(前年同期比27.9%増)の増益となりました。

(注) セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

② CRO事業

当セグメントにつきましては、WDBアイシーオー株式会社の受注が堅調に推移したことにより、売上高は369百万円と前年同期と比べ47百万円(前年同期比14.7%増)の増収となりましたが、海外CRO事業について、事業立ち上げによる先行投資により、セグメント利益(営業利益)は、22百万円と前年同期と比べ3百万円(前年同期比14.4%減)の減益となりました。

(注) セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

③ その他

当セグメントの売上高は、247百万円と前年同期と比べ53百万円(前年同期比27.9%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は26百万円と前年同期と比べ15百万円(前年同期比141.2%増)の増益となりました。

(注) セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、主として現金及び預金の増加により、総資産は17,897百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,387百万円の増加となりました。負債につきましては、主として支払手形及び買掛金の増加により5,585百万円となり、前連結会計年度末と比較して465百万円の増加となりました。また、純資産は12,311百万円となり、前連結会計年度末と比較して922百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に発表致しました業績予想に変更はありません。

なお、当社では今年度より、剰余金の配当に関する方針について新たに定めております。詳細は、当社ウェブサイト「剰余金の配当に対する方針について」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,731,203	8,485,851
受取手形及び売掛金	4,175,423	4,624,907
商品及び製品	9,066	9,239
仕掛品	34,386	69,292
原材料及び貯蔵品	114,844	68,102
繰延税金資産	248,876	169,432
その他	372,288	271,916
貸倒引当金	△259	△1,154
流動資産合計	11,685,828	13,697,586
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,635,868	1,638,224
土地	1,441,263	856,340
その他(純額)	173,709	247,814
有形固定資産合計	3,250,841	2,742,379
無形固定資産		
のれん	21,723	486,588
その他	17,927	32,543
無形固定資産合計	39,650	519,132
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,572,085	978,126
貸倒引当金	△38,858	△39,865
投資その他の資産合計	1,533,227	938,260
固定資産合計	4,823,718	4,199,772
資産合計	16,509,547	17,897,359
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,778,834	2,056,847
未払法人税等	746,523	282,754
賞与引当金	426,467	379,506
その他	1,582,111	2,130,850
流動負債合計	4,533,936	4,849,958
固定負債		
役員退職慰労引当金	368,350	374,234
退職給付に係る負債	81,745	109,838
資産除去債務	93,200	109,707
その他	42,878	141,996
固定負債合計	586,175	735,776
負債合計	5,120,112	5,585,735

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	218,024	218,024
利益剰余金	10,146,281	11,072,427
自己株式	△553	△553
株主資本合計	11,363,752	12,289,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,896	27,752
為替換算調整勘定	△6,608	△17,837
退職給付に係る調整累計額	11,395	11,811
その他の包括利益累計額合計	25,683	21,726
純資産合計	11,389,435	12,311,624
負債純資産合計	16,509,547	17,897,359

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	7,906,755	9,022,866
売上原価	5,929,257	6,750,192
売上総利益	1,977,497	2,272,674
販売費及び一般管理費	1,179,124	1,266,834
営業利益	798,372	1,005,839
営業外収益		
受取配当金	290	390
助成金収入	-	9,800
還付加算金	14	12
受取保険金	260	1,111
雑収入	2,987	3,399
営業外収益合計	3,552	14,712
営業外費用		
為替差損	-	294
雑損失	1,367	2,480
営業外費用合計	1,367	2,775
経常利益	800,557	1,017,777
特別利益		
固定資産売却益	-	945,015
受取保険金	20,000	-
特別利益合計	20,000	945,015
特別損失		
固定資産除却損	616	378
特別損失合計	616	378
税金等調整前四半期純利益	819,941	1,962,414
法人税、住民税及び事業税	300,125	783,976
法人税等調整額	79,137	81,800
法人税等合計	379,262	865,776
四半期純利益	440,678	1,096,637
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	440,678	1,096,637

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	440,678	1,096,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,742	6,855
為替換算調整勘定	△16,960	△11,228
退職給付に係る調整額	3,223	415
その他の包括利益合計	△15,478	△3,957
四半期包括利益	425,199	1,092,679
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	425,199	1,092,679
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,391,046	322,397	7,713,444	193,311	7,906,755
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,552	72	9,624	—	9,624
計	7,400,599	322,469	7,723,068	193,311	7,916,380
セグメント利益	839,553	26,816	866,369	11,005	877,375

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品製造事業、魚介類の養殖販売事業及び射出成形におけるガスアシスト技術を活かした装置の開発・製造事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	866,369
「その他」の区分の利益	11,005
全社費用(注)	△79,002
四半期連結損益計算書の営業利益	798,372

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,405,653	369,905	8,775,559	247,307	9,022,866
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,583	—	5,583	—	5,583
計	8,411,236	369,905	8,781,142	247,307	9,028,450
セグメント利益	1,073,764	22,966	1,096,731	26,546	1,123,277

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品製造事業、魚介類の養殖販売事業及び射出成形におけるガスアシスト技術を活かした装置の開発・製造事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,096,731
「その他」の区分の利益	26,546
全社費用(注)	△117,438
四半期連結損益計算書の営業利益	1,005,839

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「CRO事業」セグメントにおいて、Oy Medfiles Ltd. 及び新たに株式を取得した株式会社コーブリッジを連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において470,296千円であります。